

異常気象報告

8月20～21日豪雨速報

昭和36年8月21日

新潟地方気象台

目 次

1. 气象概况.....	1
2. 天气图.....	3
3. 雨量分布图.....	5
4. 气象表.....	7
5. 雨量表.....	7
6. 警戒状况.....	9
7. 被害状况.....	12

1. 気象概況

太平洋高気圧の本州への張り出しはノグ日頃から稍弱くなり、この高気圧と沿海州の高気圧との間に形成されていた前線は稍南下してノ8日には朝鮮中部から日本海をとおる本州の中部付近を横切つて、本州東方海上へぬける東西にのびる前線となつて停滞し始めた。

ノ8日早朝本邦の南方海上を北面進していた台風ノ5号が九州の東海上に達して弱い熱帯低気圧となり更に北面進していたが、この機バイカル湖付近から強靱に東進してきた気圧の谷が本州の西方で非常に深まってきた。この深い気圧の谷の接近と熱帯低気圧の北上により南方から暖湿気流が流入して本州付近は大雨の降り易い状態に入り始めた。

一方、沿海州の高気圧は東進してオホーツク海に入り北方からの寒気流を北日本に流入させ前線は弱体化してノ9日は本州中部一帯は強い雷雨が発生し不安定な気層を形成していた。20日の午後になると日本海東部の前線上に低気圧が現れこの低気圧が本邦に接近すると共に中越を中心として強い上昇気流が起り不安定な気層が一帯に解消して雷を伴う激しい雨が降った。この低気圧は21日の午前には本邦を通過し所々大雨をもたらす程度となつて大雨は止んだ。

雨の強くなり始めたのは20日の午後下越で始まり最も雨が降ったのは下越でノ4〜20時、中越では21時〜21日3時であつた。又最多雨域は中越であるがこの前の8月5日の大雨の時にくらべて雨域は、南にずれており範圍は稍小さかつた。しかし短時間に降った雨としてはこの付近では記録的なもので長岡を例にとると次のようになる。

	今回	36年8月5日
1 時間	59ミリ (22時〜23時)	40ミリ
3 "	132ミリ (22時〜21日1時)	94ミリ
6 "	236ミリ (21時〜21日3時)	162ミリ
12 "	261ミリ (18時〜21日6時)	247ミリ

24時間

276
(12時~2日12時)

293

今回は五十嵐、加表川流域水、比較的少かったので信濃川下流の増水は心配する程のこともなく、阿賀野川上流の福島県下でも少なかったので阿賀野川も大して増水しなかった。中越の三島、古志、刈羽郡、長岡市、見付市、魚沼郡北部に集中的に降りこの付近の小河川水はらんしたことが今回の雨の特徴であろう。

信濃川水位状況

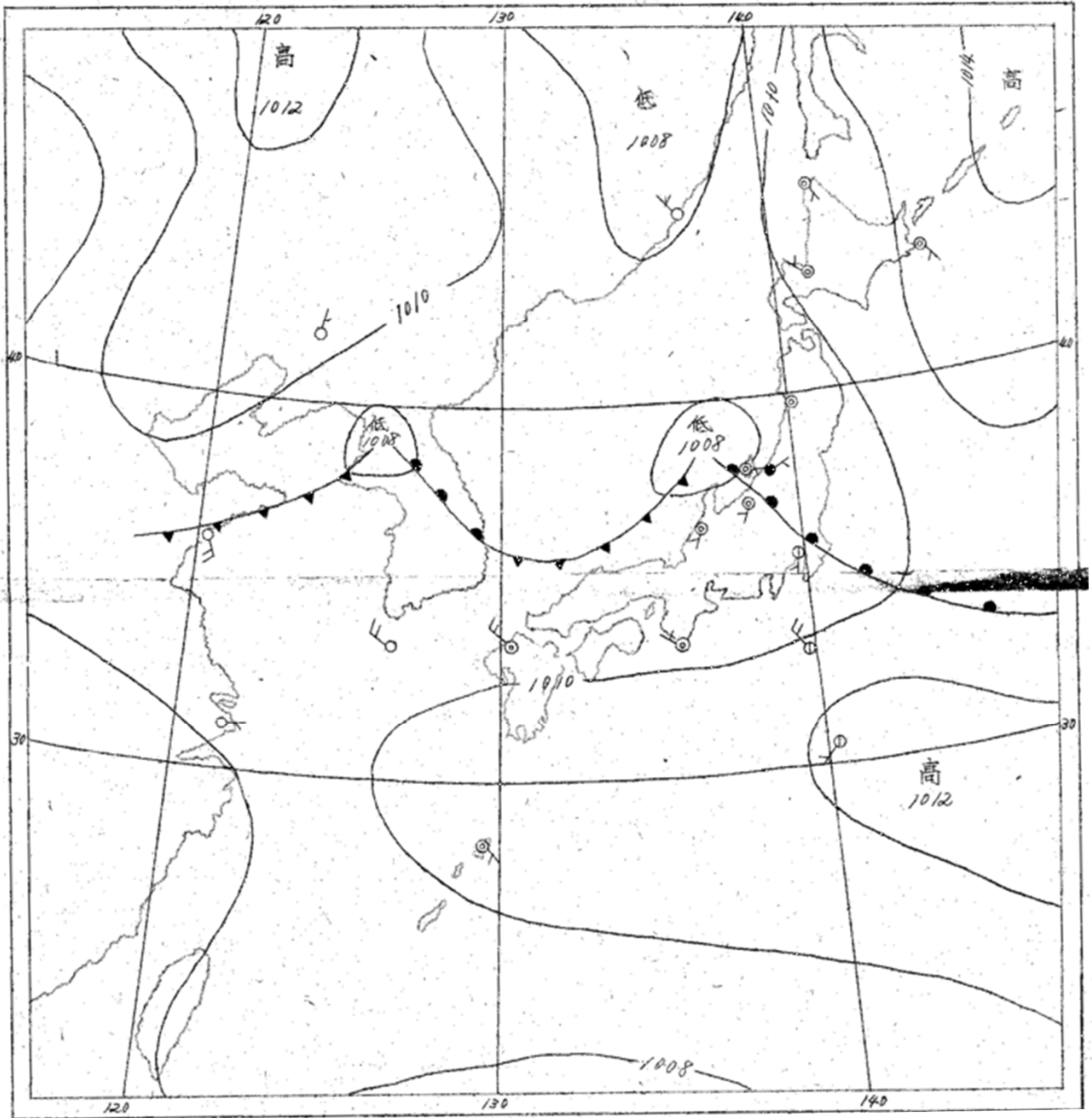
8月20日夜から21日未明にかけて中越地方に降った大雨により信濃川は増水し、長岡では21日4時から8時まで警戒水位を上回る水位となったが、最高水位は5時30分に20m72で警戒水位を22cmこえた程度であった。

長岡毎時水位表

8月21日1時	19.35	8月21日9時	20.24
" 2 "	19.80	" 10 "	20.10
" 3 "	20.22	" 11 "	20.01
" 4 "	20.50	" 12 "	19.94
" 5 "	20.69	" 13 "	19.86
" 6 "	20.69	" 14 "	19.75
" 7 "	20.62	" 15 "	19.60
" 8 "	20.50		

2. 天気図

36年8月20日 21時



4. 気象表

昭和36年
自8月20日9時
至 21日9時

新潟 長岡

日時	要素	気圧	気温	風向	風速	降水量	天気	気圧	気温	風向	風速	降水量	天気
20日 9時		1009.6	29.0	SSE	2.7	-	⊗	1009.6	29.4	SW	2.6	-	⊕
	12	09.0	28.9	W	3.7	0.3	⊙	088	29.6	W	2.6	0.0	
	15	09.8	29.3	WSW	2.8	-	⊗	097.7	29.9	SW	3.6	-	⊗
	18	08.0	24.6	NNW	4.8	17.8	▽	07.1	29.9	-	0.0	0.0	
	21	08.2	24.0	ENE	1.7	23.3	▽	07.9	24.3	-	0.2	1.35	
	24	09.8	24.0	S	2.8	0.1	⊙	084	22.2	SE	2.4	12.60	
21日 3		09.4	22.7	S	2.2	-	⊕	084	22.1	SW	2.2	110.0	▽
	6	08.2	23.1	S	1.7	-	○	082	22.9	SW	3.6	1.15	⊕
	9	08.4	21.7	NW	0.3	14.0	⊕	08.6	25.6	SSW	2.0	-	⊙

5. (1) 毎時雨量表

時間	新潟	長岡	赤谷	塚山	津南	庭月	藤原山	王子岳	守門岳	神楽峰
20日 7~10	-	-	-							
10~11	0	-	-							
11~12	-	-	2							
12~13	-	-	18							
13~14	-	-	5							
14~15	-	-	35					4		
15~16	-	-	2					} 32		
16~17	0	-	0							
17~18	2.1	0	10				1			
18~19	1.2	0	5.0				} 5	} 2.9	} 2	
19~20	0	1.3	2.9			1				
20~21	5	1	2	} 4		2.8				
21~22	0	4.4	1	3.0		1.3	} 1	} 3	} 3.7	} 2
22~23	-	5.9	0	2.3		1				
23~24	-	2.3	1	4.8			0			
21日 0~1	-	5.0	-	4.3			0			5
1~2	0	4.4	-	3.1	1.5		0	0		0
2~3	-	1.6	-	6	1.6		0	0	3	4
3~4	-	8	-	4	4		0	0	0	1.8
4~5	-	3	-	0	5		0	0	3	0
5~6	0	0	-	0	1.1		3	0	0	1
6~7	1.2	0	-	0	-		1	0	0	0
7~8	2	0	-	0	0		0	0	1	2
8~9	-	-	-	-	0		5	0	1	0
計	5.2	26.1	15.5	18.9	5.0	4.3	1.6	6.9	4.7	3.2

(2) 日雨量表

(20日9時~21日9時)

新潟県

福島県

鉄道観測資料(20日^{9時}~21日^{9時})

新潟	52
高田	43
相川	17
長岡	261
下関	79
赤谷	155
下平	47
塚山	189
入込瀬	71
上長崎	32
津南	50
金丸	60
早出	27
庭月	43
鷲塚山	16
二王子岳	69
守門岳	47
神楽崎	32
安塚	63
松代	51
袴岳	7
新穂	20
小出	174
寺泊	180
出雲崎	(93)

若松	46
只見	29
鹿瀬	18
博士峠	31
高田	19
稻荷峠	58
伊南川	49
宮下	14
喰文	14
朝日岳	21
小林	43
丸山	19
尾瀬	18
檢枝岐	25
猿塚口	18
田代山	37
内川	38
教元湖	45
湖南	61
上戸	50
十六橋	27
小野川	38
乗吾妻山	56
荒海	22
駒止峠	48
下郷	38
荒海山	35

水上	5	新井	40
湯浅	14	高田	50
土樽	38	直江津	74
石打	40	米山	30
塩沢	23	柏崎	77
山都	52	塚山	194
野沢	47	小出	164
日出谷	18	川口	179
津川	18	長岡	260
手子	35	入込瀬	96
沼沢	32	東三条	48
小国	69	新津	10
金丸	65	新潟	55
坂町	15	新潟	45
村上	15	新発田	57
早川	19	粟米谷	168
勝木	40	西山	175
風ヶ岡	11	大河津	133
温海	17	吉田	31
三瀬	35	巻	15
鶴岡	50	見村	165
福田	40	出雲崎	179
田口	10		
関山	14		

6. 警戒状況

新潟地方気象台

1. 気象注意報・警報

2. 気象情報

発表日時	種別	発表日時	種別
8月20日 18時50分	大雨注意報	8月20日 23時30分	大雨情報才1号
21日 00時25分	大雨警報洪水警報 (中級)	21日 02時45分	大雨洪水情報才2号
21日 08時20分	同上 解除		

3. 電力気象情報通報

発表日時	種別
8月21日 02時45分	電力大雨洪水情報1号
21日 08時25分	同上 16号 (解除)

4. 鉄道気象通報

発表日時	種別	地区
8月20日 18時50分	テケハ	ニ1の7-15, ナ03, カナ101, 2
21日 08時30分	テケン	同上

注意報・警報抜粋

大雨注意報 昭和36年8月20日18時50分発表

県下全般に大雨の降り易い状態となっています。今後の雨は一時的に強く降り50〜70mmの雨量となる見込みです。なお中小河川は所によって増水し低地では浸水の恐れがありますから充分御注意下さい。

大雨警報、洪水警報（中越地方）

昭和36年8月21日00時25分発表

県下全般に大雨の降り易い状態が続いています。特に中越地方では局部的に強い大雨が降っており今後更に強く降る場所があらましよう。今後の雨量は所によって100〜150ミリ

河川は増水し、堤防は欠壊し大きな災害を引きおこす恐れがありますから嚴重な警戒をして下さい。

大雨情報 沖ノ号 昭和36年8月20日23時30分発表

今日、午後から下越方面で局部的に強い雷を伴った雨が降っていましたがこの雨は夜おそくなつて長岡周辺にうつり長岡では21時より23時の2時間に103ミリの集中的な強雨が降りましたが現在緩小降りとなって来ました。

なお、明朝を県下では局部的に雷を伴った強い雨の降る恐れがあり、河川は増水し、中小河川では堤防の欠けみや低地では浸水の恐れがありますから嚴重な警戒が必要です。

7 被害状況

昭和36年8月22日10時現在

(県警と交通課調べ)

人的被害	死	看	人
	負傷	看	5人
	行方不明	看	人
建物被害	全	壊	11棟
	半	壊	28棟
	流	失	2棟
	一部	壊	2棟
	全	焼	棟
	半	焼	棟
	床上	浸	水 3338棟
	床下	浸	水 5478棟
	住家	被害	22棟
	耕地被害	水田	流失
冠			水 2450 179-ル
畑		流失	埋没 179-ル
		冠	水 56 179-ル
道路	損	壊 59ヶ所	
橋	深	流 失 29ヶ所	
堤	防	欠 壊 36ヶ所	
山(崖)	く	ず れ 20ヶ所	
電	柱	倒 壊 ヶ所	
板	塀	倒 壊 ヶ所	
鉄軌道	被	害 9ヶ所	
通信	施設	被 害 47ヶ所	
木	材	流 失	石
山	林	焼 失	所歩
船舶被害	沈	没	隻
	流	失	隻
	破	損	隻
	その他	他	隻
罹災者	概	数 17700人	
罹災世帯	数	3377世帯	
出動警察官	数	420名	
出動消防員	数	4000名	
その他の出動	数	自衛隊 602名	